

平成 16 年度 (H.15 夏実施) 宮城県・仙台市教員採用試験 (一次試験)

校種: 小学校 (男子) ...試験会場が男女別になっている。

場所: 仙台市立長町中学校

1 日目 H.15.7.24 (木)

#### 【筆記試験】

〔教職教養〕60 分

- ・ここ数年の問題から比較して、記号選択問題が増えたように感じた。しかし、依然として宮城県に例年よく見られる文章記述で回答する問題もあった。問題 1, 3, 4 が記号選択問題, 問題 2, 5 が記述問題。
- ・問題 2 は子どもの実態調査のデータが提示されており, そこから読み取れることとその原因等を述べる問題。表をよく見て考えられることをまとめた。
- ・問題 5 は教育現場への対応の仕方を記述する問題。文章の内容から実際の場面をイメージし, 子どもへの対応を教員の立場で検討。常識的に考えられることをまとめた。

〔専門教養 (小学校)〕100 分

- ・ここ数年, 宮城県で実施している「総合問題」。問題 1 は国語。宮城県沿岸の漁師の話。漢字の書き取りと読解問題。問題文の場面は地元ローカルだが, 問題を解くことに関しては, 受験者の出身が県内と県外での有利不利はそれほどないと思う。自分は宮城県出身であるものの, 解きやすいとは感じることはなかった。特に県外出身者であっても, 逆に先入観なく純粋に文章を読むことが出来ると思うので, それほど気にすることはないと思われる。文章の内容は難しめと感じた。しかし暗記問題ではない為, しっかり読めばある程度回答できると思われる。回答に詰まったときには他の問題に取り組み, その後で文章を読み直して回答。
- ・問題 2 は国語以外の科目が混合した問題。しかし, 回答していくとそれぞれ算数 (指導法), 理科 (化学, 生物), 英語 (中学 ~ 高 1 程度), 家庭 (食品), 社会 (歴史), 音楽などの内容から構成されていることが分かる。宮城県の筆記試験問題は, 教員採用試験の参考書などからそのままの形で出題されることはあまりみられない。とはいえ, 基本は勉強しておかなければならないが, その他にも普段から小学校全科の内容を実際の生活で意識しておくといふと思う (例: 今年は家庭科の食品表示に関する出題があった)。
- ・宮城県の問題に毎年出題されているデッサンが今年はなかった。受験要項にも小学校受験者にはデッサンがあるため「B」等の鉛筆を持ってくる旨の記述があったのだが, 実際には出題されなかった。
- ・解答欄はすべて埋めたものの, 実際の点数は 5~6 割程度かなというのが実感。
- ・午後以降に実施される集団面接の為のグループ割り振りが教室の黒板に掲示してある。休憩時間あるいは筆記試験終了後に, 各自で確認する。

#### 【水泳】

- ・12 時 10 分に筆記試験が終了。1 時間ほど昼食を取る時間があり, 午後から水泳となった。

体育館に集合して受験番号順に並ぶ。試験官の合図により受験者全員で準備運動。

- ・ 受験番号の前のほうから順に控え室である教室へ移動。教室で着替え、本番まで 2 時間程待った。試験官が呼びに来て、屋上のプールへ移動。当日は雨で気温が非常に低かったため、練習はなく、一発本番。5 コース 5 人ずつスタート。25 メートル、泳法自由。クロールの人が多かったが、一部平泳ぎの人もいた。受験番号を呼ばれ、手を上げて返事をする。自分は飛び込みでスタート。プールの両脇に試験官がいる。スタート、フォーム、呼吸、ゴールのタッチなどを正確に行っているかを見られている模様。

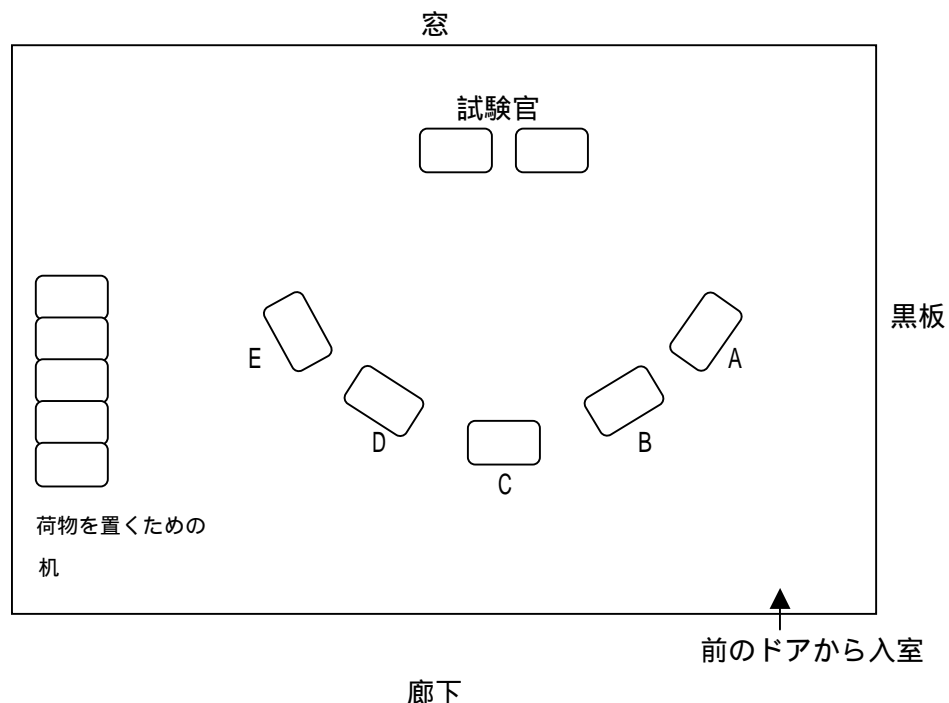
2日目 H.15.7.25(金)

【集団面接】

寒々しい雨模様。自分は 10 時過ぎの時間の割り振りで、9 時くらいに会場入りした。持参した過去の宮城県の集団面接題を見て、自分なりの回答を考えながら試験までの時間を過ごした。

5 人ずつグループになって面接を受ける。時間は 30 分程。前のグループが入室して面接が始まると、次のグループは廊下に置いてあるイスに座って待つこととなる。廊下に係りの方が見え、受験番号、受験票の確認を受ける。

前のドアから入室。下図のように机が並んでおり、教室後ろ側に並んでいる机の上に荷物を置き、筆記用具を準備して、1 日目の案内によって決まっている A~E のイスに、各自着席する。



自分は E。B さんが欠席。机上には A5 程度の大きさのメモ紙が 1 枚置いてある。面接官の方から「そのメモ紙は自由に使用してよく、試験後に回収するが、評価の対象にはならない」と告げられる。

面接官の方から受験者に向けて問題が伝えられる。

「現在の子どもは人とかかわる力が不足している。どのようにしてその力をつけていこうと思うか（といった内容だったと思う。詳細は過去の試験問題を閲覧してください）」

3 分間考え、自分の考えがまとまった人から挙手して発言するように言われる。自分は 2 番目くらいに発言したかったが、あまり考えがまとまらず、最後になってしまった。

全員の意見が出た後に、最初の課題を少し深めた内容の課題が面接官から伝えられる。少し考えてから、最初の質問と同様に挙手して発言するように言われる。

最後に、その課題について、自分ならどうするか、具体的な対策を聞かれる。これも挙手して自分から発言する形。

この「集団面接」は文字通り、集団での面接という形で、特に試験官や受験者との質疑応答や、討論をすることはなかった。自分は発言する順序が遅くなることが多く、他の人の考えに共感したこともあったため、「さんの話のなかにもありましたが」などという言葉をつけ加えた。積極的に話すでもなく、引っ込むわけでもなく、自分なりに考えられるところをほどほどにまとめられればよいのではないかと思う。抽象的な話になって話しがまとまらずに困ってしまった受験者もいた。具体的に述べるようにして、あまり、抽象論になり過ぎないこともコツかもしれない。

面接官の方はほとんど発言することがなかったと思う。受験者を見て、評価をしていたようだった。

出題される課題は様々な方が対策を考えているようなどれも現在教育現場で課題となっていることと思うので、面接ですばらしい回答を、と考えるよりは、自分なりにできるかなと考えられることをまとめて発言できれば十分ではないかと思う。試験官もすばらしい回答というよりも、服装や態度、目線などが落ち着いているか、人の意見を聞いているか、自分の意見がある程度まとめて発言できるか（多くのことや立派なことを言うことではない）、等を見ていると思われる。自分はこうして教育を変える！など積極的な意見を話すのもいいのかもしれないが、いろいろと課題が山積みの教育現場の中で、自分ならこうするかな、と具体的な対策が考えられれば十分ではないだろうか。

～～参考までに～～

試験問題について

宮城県は H.13 年度（H.12 年夏実施）から試験問題を公開している（ただし、H.13 年度は集団面接題及び教職教養のみ）。選考要項、一次試験の筆記試験問題、集団面接題、二次試験の作文題を閲覧できる。宮城県庁地下に「県政情報センター」があり、そこで閲覧、コピーが出来る。実際の試験用紙、解答用紙が公開されており、問題の内容を把握するとともに、実際の問題の感じを掴む為にぜひ一度閲覧することをお勧めしたい。県内の各教育事務所（大河原、古川等）、一部宮城県教育委員会のホームページでも公開されている。

郵送に関しては連絡先が宮城県教育委員会のホームページに載っていた。遠方の方は問い合わせしてみるといいと思う。

#### 自分の取った対策

H.15年1月くらいに今年夏の受験を検討。過去の問題を集め、問題と回答をノートにまとめた。小学校全科は参考書の「ランナー」を購入し、過去問をまとめる為の補助として、また「ランナー」自体も過去に出題されたところとそれに関連するところを数箇所まとめた。

宮城県の過去の問題を見たところ、毎年出題される問題が大分変わり、全体的に難易度も高いと感じた。ただし、教職教養の第1問目の教育法規は繰り返し出題されていたため、「教員養成セミナー」を1年分定期購入し、それを利用して教育法規に関するページをまとめた。「教員養成セミナー」は受験対策や最近の教育の動向、教員になった人の話などが載っており、情報収集に役立った。また、新聞もよく読むようにして、一部教育に関する記事を切り取るなどといったこともした(まとめるまでの時間はなかったが)。宮城県の問題は、参考書にあるような基本的なことも出題されるが、最近の教育の動向や課題を踏まえたような問題も出る傾向があるため、新聞や「教員養成セミナー」により最新の情報を取り寄せておくといいいのでは。筆記試験だけでなく、面接、作文などにも役立つと思われる。